

特集 地震に備えて

はじめよう

家具の転倒防止対策

いつ発生するか分からない地震。屋外や職場などにいるときに発生することもあれば、自宅であつろいでいるとき、あるいは就寝中に発生するかもしれません。自宅では対策をしていないと、家具の転倒や落下が原因で負傷してしまうことが想定されます。

今月号では有事の際、家庭で自身やご家族の負傷リスクを軽減する家具転倒防止対策について特集します。

問合せ 市危機管理課危機管理担当 ☎(23)6111番 内線2215

実は危険 地震による家具類の転倒

地震により家具類の転倒・落下・移動が発生すると、次の「3つの危険」が生じる可能性があります。

①ケガ

近年発生した地震で、ケガをした方の原因を調べると、約30～50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるものとなっています。

平成7年の阪神・淡路大震災では、ケガの原因の50%が家具等の転倒落下、30%がガラスによるものでした。

②火災

転倒・落下した家具などが電気ストーブなどの電源スイッチを押し、付近の燃えやすいものに着火するなどして火災が発生することがあります。

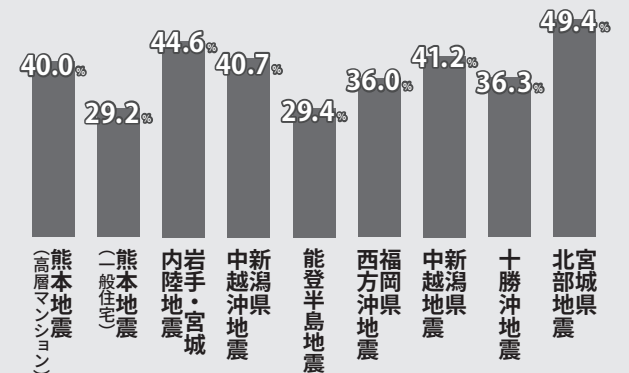
③避難障害

避難通路、出入口周辺に転倒・移動しやすい家具類を置くと、避難経路を塞いだり、引き出しが飛び出すことで、つまづいてケガをしたり、避難の妨げになることがあります。

近年の地震でケガをした人の原因の

約30～50%が

家具等の転倒などによるもの



近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のケガ人の割合 (出典:東京消防庁)

ケガ、火災、避難障害の「3つの危険」から自分たちの身を守るためには、家具類の転倒・落下・移動防止対策が非常に大切です。

根室市で発生が想定されている地震

今後30年以内に根室市で地震が発生する確率は、根室沖のマグニチュード7.8～8.5程度の巨大地震が80%程度、千島海溝沿いのマグニチュード8.8程度以上の超巨大地震が7～40%とされています。

千島海溝沿いでマグニチュード9.3の巨大地震が発生した場合、根室市では震度6弱から6強の揺れが想定されており、20メートルを超える津波も想定されています。

根室沖

マグニチュード
7.8～8.5程度

巨大地震

発生確率

今後30年以内に

80%程度

千島海溝沿い

マグニチュード
8.8程度以上の

超巨大地震

発生確率

今後30年以内に

7～40%程度

今から29年前の10月4日には

北海道東方沖地震が発生

- 発生年月日: 平成6年10月4日 22時23分
- 規模: M8.2 ■ 震度: 5

花咲港で173cmの津波を観測。重傷8名、軽傷42名、住家全壊17棟、半壊271棟、一部破損1,533棟などの被害をもたらした。



家具転倒防止対策のポイント

対策はまず、寝る場所・子ども部屋、滞在する時間の長い部屋からはじめましょう！

01 整理整頓・収納場所を変更し、家具を減らす

02 家具の配置を見直す

① ドアや出入口をふさがないか？



出入口をふさがないように
家具の向きを変えましょう。

② 就寝場所に家具やテレビが倒れてこないか？



就寝時は家具が
倒れてくる位置にしない。

03 家具転倒防止器具を使って家具を倒れにくくする

ホームセンター等で様々な家具の転倒を防止する器具が販売されています。

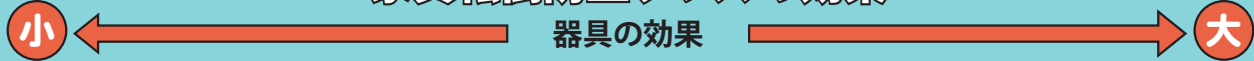
①ネジを使って固定する方法

- 壁にL型金具を用いて固定する方法は、最も効果が高いです。
- 取り付けたい場所に下地材がない場合は、木の横板を新たに壁側や家具に設置する必要があります。

②ネジを使わずに固定する方法

- ボールとマットまたはストッパーを組み合わせて使用しましょう。
- ボール式器具を設置する際は、天井に十分な強度が必要です。

家具転倒防止グッズの効果



単独使用	ストッパー式	ボール式	ベルト式	L型金具 (上向き取付)	L型金具 (下向き取付)
組み合わせて使用		粘着マット式		ボール式 + マット式	ボール式 + ストッパー式

家具転倒防止器具の購入・取り付けに関する助成を行っています！

市では家具等転倒防止器具の購入・取り付けを行う世帯に対し、購入費用と器具の取り付けを業者に依頼する場合はその取り付け費用に対し、1世帯につき10,000円を上限として助成金を交付しています。

申請にあたっては、交付申請書と領収書やレシートなどの支払い証明書類の写し、取り付け前後の写真、振込先口座が確認できる通帳の写しを添付してください。

申請書様式については、ホームページからダウンロード、もしくは市役所総務部危機管理課でお渡しますので、ぜひご活用ください。

詳しくは、総務部危機管理課危機管理担当までお問い合わせください。



市ホームページ